

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス Liebeせこ

対象人数(保護者)13人 回答者数 10人 回収 76.9%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	10				常に清潔を保って行き、床にテープを貼りエリアを分けていく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	8			2	朝礼時に人員配置の確認を行う。保護者様にも安心して頂けるように連絡帳に記載者の名前を載せていく。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか。	7	1	1	1	危険な個所の見回りをを行い、危険な部分はクッション材を使用し早急に改善していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よい空間になっているか、また子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9			1	毎日机やロッカーなど手に触れる所は消毒を実施している。 今後も継続していく。
	⑤	事業所の環境・体制に満足しているか	10				
適切な支援の提供	⑥	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか。	10				
	⑦	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	10				毎日楽しく違う活動を提供できるようスタッフ同士でも意見交換をしながら活動を構成していく。
	⑧	保育所等や放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	2	1	1	6	実施できる機会があれば参加をしていく。 他事業所と連携をとり情報交換をしていく。
	⑨	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			2	項目に分けて個別支援計画書を作成していく。分かりやすい説明を心がけていく。
	⑩	個別計画に沿った支援が行われているか。	10				
保護者への説明等	⑪	事業所の支援に満足しているか。	10				
	⑫	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	10				
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	10				
	⑭	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援がおこなわれているか。	8			2	面談ご希望時には保護者様のご都合に合わせてるようにしていく。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	2		5	3	家族参観の実施を立案していく。
	⑯	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を設備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			3	苦情があった際には管理者が対応し迅速かつ丁寧な対応をしていく。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	10				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか。	10				
非常時等の対応	⑲	個人情報に十分に注意しているか。	10				スタッフ一人一人が意識して行動をする。
	⑳	スタッフの説明等に満足しているか。	10				送迎時や面談時に保護者様に不快感を与えないように意識して行動する。
	㉑	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定し、保護者に周知・説明されているか。	9			1	緊急時の対応について、書面を配布して確認をしていく。
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	6			4	毎月避難訓練を実施している。お休みだったお子様に対しても周知できるようにしていく。
	㉓	非常時の対応や備え(訓練等)に満足しているか。	6			4	お休みだったお子様に対しても周知できるようにしていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
送迎 対応	㉔	送迎は正しく行われているか。	10				常に気を配り、安全運転を心がけていく。
	㉕	送迎時にお子様の様子を適切に共有できているか。	10				送迎時には、連絡帳に載っていない事もお伝えできるようにしていく。
	㉖	送迎時のスタッフの対応は良好か。	10				
	㉗	送迎対応に満足しているか。	9		1		保護者様にスタッフの顔も知っていただき、不快感を与えないようにしていく。
療育 支援	㉘	事業者での療育は役に立っているか。	10				
	㉙	保護者様はお子さまにもっと通ってほしいと思える事業所か。	10				
	㉚	お子様は通所を楽しみにしているか。	9	1			楽しんでもらえるように自由時間にできる遊びを増やしていく。
	㉛	事業所での療育支援に満足しているか。	10				
1年 の振 り返 りと 総評	㉜	事業所に通われてからこれまでで、保護者様が心に残ったエピソードを教えてください。	10				お子様に喜んでいただきスタッフ一同大変うれしく思います。 今後も新しい発見を増やしていき、できることもっとできたと変えていけるような活動を提供してまいりますのでよろしくお願いたします。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。